

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

**外部評価の結果**

**事業所名** グループホーム **ふるさと**

日付 平成17年2月26日

**評価機関名** 有限会社  
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

**自主評価結果を見る** (まだリンク先はありません)

**評価項目の内容を見る**

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**

**論評** 全体を通して(特に良いと思われる点など)  
 広い田園の中にあるホームは、玄関がおおきく開放されている。行動を制限することなく、出入りは自由である。  
 天気の良い日は、入居者の布団は出来るだけ外に干している。居室で横になるのを防ぐためでもある。何気ない行為であるが、生活のリズムを整える上で有効なようだ。

職員は、表情などから入居者の気持ちを汲み取って見守りを行っている。暖かい日差しの中での日向ぼっこであろうか、外に出ていく入居者の後ろから、座布団を持って行ってあげている。

食事のメニューは、事前に決まっていな。冷蔵庫の中身や食材を見て、入居者と相談しながら、栄養士のアドバイスのもとに決定していく。作り方を教わったり、味を確認してもらったり、入居者から教わる事は多い。

職員は、各世代の人材がそろっていて、入居者との会話も多く自然である。職員間の意思の疎通もしっかり出来ている。若い管理者は、他の職員の意見を謙虚に聞き、みんなの力を得て運営に臨んでいる。

入居者が、生き生きとして見えた。入居者と職員の明るい顔、笑い声が印象的な居心地よいホームであった。

改善の余地があると思われる点  
 オープンして日が浅い事もあり、地域とのつながりがまだ出来ないようです。外出はよくしているので、地域との交流も今後の課題として頂きたい。

**I 運営理念**

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 「寄り添う心 日々感動、新たな気持ちで前向きで」をモットーに、入居者本人の希望により自立に向けてがんばってもらう。決して無理強いはいしない。本人が、その気になってもらえる工夫と努力をする。			

**II 生活空間づくり**

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か いつも玄関が開いていて開放的。行動を規制せず、入居者の行動パターンを把握する。時間によって外出したい事を予測して見守りをしっかり行っている。 入所時、帰宅願望が強ければ、自由に外出させて職員は後からついていく。しばらくして声をかけると素直にホームに戻ってくれる。			

**III ケアサービス**

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

**III ケアサービス(つづき)**

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 今までの人生経験を發揮してもらっている。気分によっては頼んでも拒否される事があるので、入居者の様子をよく観察しながらタイムリーに声かけをしている。大工仕事、野菜作り、料理方法など。無理強いをせず、喜んで教えてもらえるよう心配りをしている。			

**IV 運営体制**

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 管理者は、職員の意見をよく聞いている。前向きな意見には職員が誰が発言したものでまずは採用してみ、検証してみる。 みんなの力を結集して、理念に向けて実践できるよう風通しのよい環境作りに努力している。			